

祝 小山中央小学校が文部科学大臣表彰を受賞

～平成 28 年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰～

文部科学省では、学校と地域が連携・協働して行う「学校支援活動」、「地域未来塾」、「放課後子供教室」及び「土曜日等の教育活動」等の地域学校協働活動並びに「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」での教育方針に基づいた地域学校協働活動等のうち、他の模範と認められる活動に対して、毎年度、文部科学大臣表彰を行っています。

本年度は全国の 135 団体が文部科学大臣賞を受賞しました。東京都からは町田市立小山中央小学校を含む 6 団体が受賞となりました。本市では平成 25 年度に小山小学校が文部科学大臣賞を受賞以来、3 年ぶりの受賞となります。開校以来、地域と連携・協働した学校づくりを目指してきた小山中央小学校が文部科学大臣賞の栄誉に輝いたことに心より祝意を表したいと思います。

12 月 8 日（木）には、文部科学省で表彰式があり、小山中央小学校の岡部校長と VC の山口様・遠藤様が出席されました。



南成瀬小学校3年、4年

オリンピック・パラリンピック教育 ～伝統文化を学ぶ(和楽の鑑賞・体験)

準備期間を過ぎ、第1フェーズに入ったオリンピック・パラリンピック教育は、各校において本格的に取り組まれているところだと思います。南成瀬小学校では、オリンピック・パラリンピック教育のテーマ「文化」へのアプローチが、これまで行ってきた音楽の授業に関連付けて行われています。

11月15日に3年生・4年生が日本の楽器を学ぶ音楽の授業で、和太鼓演奏の専門家集団「和太鼓衆 雅武者(がむしゃ)」による太鼓演奏の鑑賞と演奏体験をしました。3年生は、授業のめあて「おはやしのリズムを感じながら聴いたり演奏したりしよう」を、オリンピック・パラリンピック教育のアクション「日本の伝統文化を鑑賞・体験しよう」に関連付けての実施です。



いつもの音楽室ではなく、体育館に集った3年3組の児童に指導者は5人。そして10張の長胴太鼓と10張の締太鼓と合わせて20張の太鼓が用意されています。

まず初めに太鼓演奏の鑑賞です。演奏された「秩父屋台囃子」は教科書にも載っている曲であり、音楽の授業に沿ったものとして取り上げられました。目の前で繰り広げられる演奏は、迫力のある音色・リズム、波のうねりのような響き、細やかにころがす見事なばちさばき……と聴きどころ観どころいっぱい、質の高い和楽の鑑賞ができました。



太鼓の種類、つくり、太鼓の歴史などについての説明を受けた後は大鼓の演奏を学びました。簡単な言葉をつなげた短文を読み上げるそのリズムを、そのまま太鼓で打ち鳴らします。数回の繰り返しで、児童たちはきれいにそろった音が出せるようになります。その上に指導者たちの摺鉦、チャッパ、笛の音が重ねられていくと、単純な言葉のリズムによる児童の大鼓演奏が、まるで祭囃子かのようにも聴こえる演奏になっていきます。大半の児童には初めての太鼓演奏ですが、その面白さに皆が夢中になっていったようです。

「秩父屋台囃子の演奏には心を揺さぶられた」という趣旨の感想や、「おもしろいのもっとやりたい」という感想などを自ら進んで述べる児童たちがいるほどに、深く豊かな鑑賞と体験学習ができたようです。

音楽科の教員から、指導計画に基づき、オリンピック・パラリンピック教育に関連付けた伝統文化を学ぶ授業を、地域と連携して進めたいと要請されたVCが、親しくしていた地域の音楽集団につないで実施された学習支援です。当日は授業が行われた5時間の授業のすべてで、VCとして運営・調整を行いました。



中学2年生 職場体験

町田市の中学2年生の5日間にわたる職場体験は、多くの事業所のご厚意とお力添えによって進められている学習活動です。また、協力事業所の確保に見られるように、VCの日頃の働きかけにも支えられ、進められている一面を持つ学習活動です。この活動を推進する町田市教育委員会も、事業所の一つとして毎年度数名の生徒が体験する職場になります。本年度第2期の職場体験ではその中の1日を、学校支援センターの業務に2名の生徒が取り組む体験をしました。



11月24日の雪の朝、学校支援ボランティア活動とそれを調整・運営するVCの活動を視察・見学し、体験するために市役所近隣の学校に向きました。登校見守り活動の視察・見学と体験ですから、当日はいつもより早朝に出勤をしての出発です。

当校の登校児童の事故防止の見守りと挨拶の声かけは、毎朝7時30分ごろから8時30分ごろまで、学区全体に通学路に散在する要所に立つボランティアさんによって行われています。VCは参加人員の手配や、安全確保の表示の手配をするコーディネートに携わるだけでなく、ボランティアとしてこの見守り活動に参加しています。学校支援センターの仕事の体験として出向いた2名の生徒も、視察・見学だけではなく登校見守りボランティア活動に参加しました。

全校児童約550名のうちの約300名が通る住宅街の交差点です。横断旗を手に、通過する自動車の停止・進行を指示したり、児童を立ち止まらせたり横断させたりすることは、自動車の通行や始業の時刻にまったく頓着しない児童もいる中でのことです。スクールゾーンにより通行禁止となる道路上に置いた「進入禁止」の表示にクレームをつける運転者もいる中での活動であるとVCに教えられました。始業時刻が過ぎたところで、通学路のボランティア清掃活動を体験しながら帰庁しました。



続いては交換使用封筒の作成事務作業に従事です。各学校及び各校VCとの情報・文書交換は学校支援センター業務の遂行に不可欠です。使用済み封筒を再利用しますが、ラベルを貼り、宛名・差出人を書き入れ、常時の利用に応じられる用意をしておきます。貼付、押印という単純作業ですが、それも学校支援センター業務の遂行を支える必要不可欠な仕事であることが学べたのではないのでしょうか。

5日間にわたる職場体験は、中学生が実際に仕事を体験することで、働くことのたいへんさ、その意義を学び、また社会の一員としての役割を担う意味に気付くことを企図した活動です。体験を終えた生徒たちには、親も含む普通の大人たちが普通に生きることが実は素晴らしいことであることを知り、自分自身の生き方を考え、そこにつながる自分自身の進路についてしっかり考えるきっかけになればと考えています。

東京都教育委員会主催「教育支援コーディネーター・フォーラム」



12月11日(日)、都庁にて教育支援コーディネーター・フォーラムが開催されました。

当フォーラムは教育支援コーディネーターを対象に、教育支援プログラムを提供している企業・大学・NPO等団体の方も参加し、専門的な知識・技術をいかした魅力的なプログラムについて紹介する機会として毎年開催され、今回で10回目を迎えました。

午前には、「企業・NPO等向け」と「コーディネーター向け」の基礎セミナーが会場を別にして行われました。初めてフォーラムに参加するコーディネーター向けのミーティングでは、町田第一小学校の相澤VCによる「先生たちとつながる！学校支援とは」の実践報告があり、啓発された参加者が多かったことと思います。

午後は、オープニングレポートとして、台東区立上野小学校による事例紹介「ネットワークがあってよかった！つながった！実現した！」がありました。地域教育推進ネットワーク協議会会員団体などの協力により、東京芸術大学や企業の教育プログラムを導入した報告でした。

主催者あいさつの後で、教育支援コーディネーターと団体との情報交換が行われました。参加者には「教育支援コーディネーター・フォーラム資料集」が配布されておりましたが、参加できなかった学校には、東京都から学校支援センターに届き次第、各校に配布していく予定です。様々な教育支援プログラムが掲載されていますので、御活用ください。



＊＊ 事務連絡 ＊＊

(1) 3学期 小学校地区別及び中学校合同 VCM

区分	該当校	日程	会場校
小学校	1 小山田/小山田南/小山/小山ヶ丘/小山中央/相原/大戸	2/15(水) AM	小山中央小
	2 本町田/忠生/忠生三/山崎/木曾境川/七国山/函師	2/17(金) AM	函師小
	3 鶴川一/鶴川二/鶴川三/鶴川四/金井/大蔵/三輪	2/14(火) PM	鶴川一小
	4 町田一/町田二/町田三/町田四/町田五/藤の台/本町田東	2/16(木) PM	本町田東小
	5 町田六/南大谷/南二/成瀬台/高ヶ坂/成瀬中央/南成瀬	2/14(火) AM	南二小
	6 南一/南三/南四/つくし野/小川/鶴間/南つくし野	1/23(月) AM	つくし野小
中学校	全校	1/18(水) AM	市役所2F

※ AM⇒9:30~11:30 PM⇒14:00~16:00

(2) 学校支援ボランティア感謝状贈呈式

2017年2月7日(火) 14:00~16:00 町田市民フォーラム3階ホール